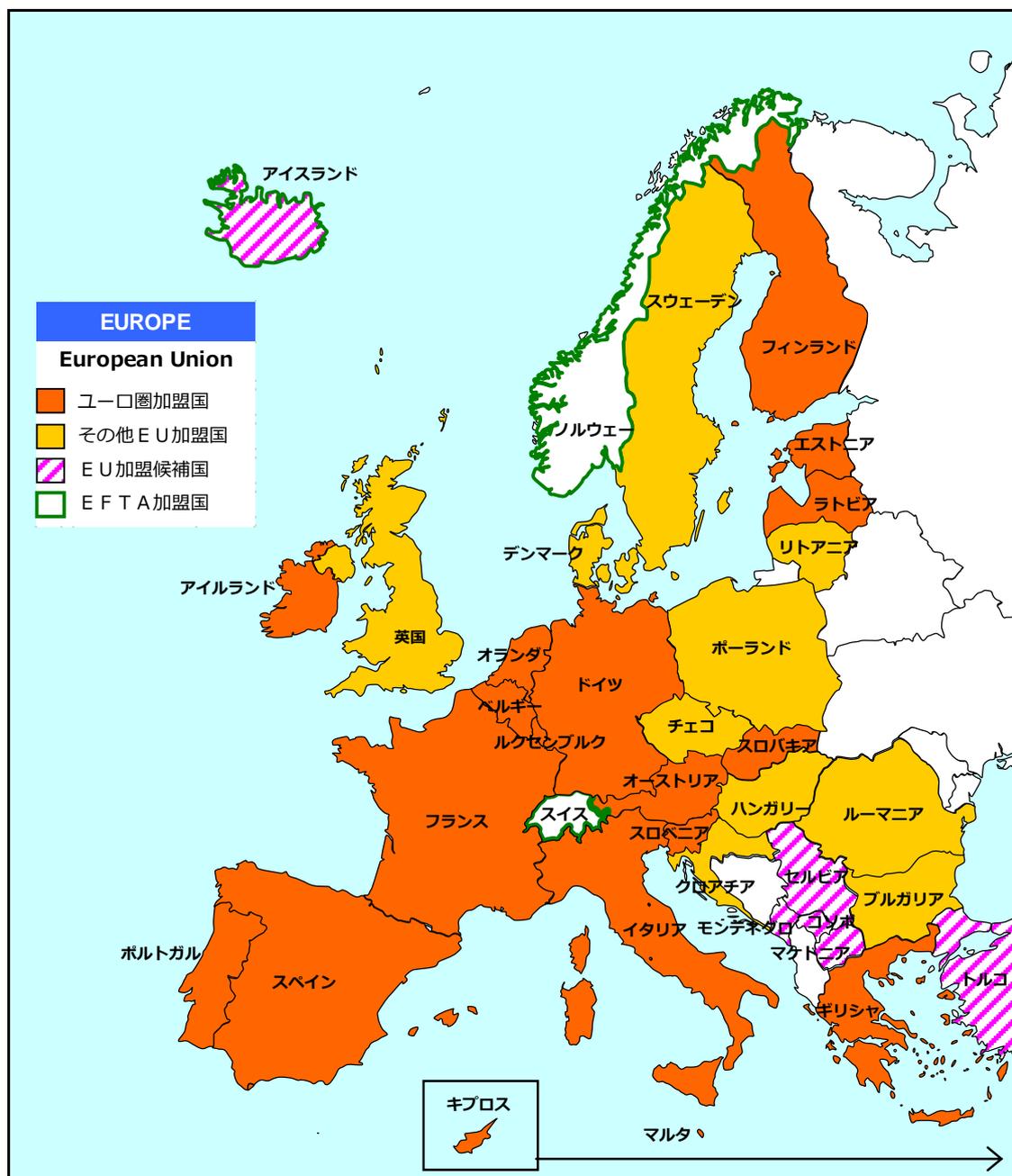


# 欧州経済アップデート (2014.4)

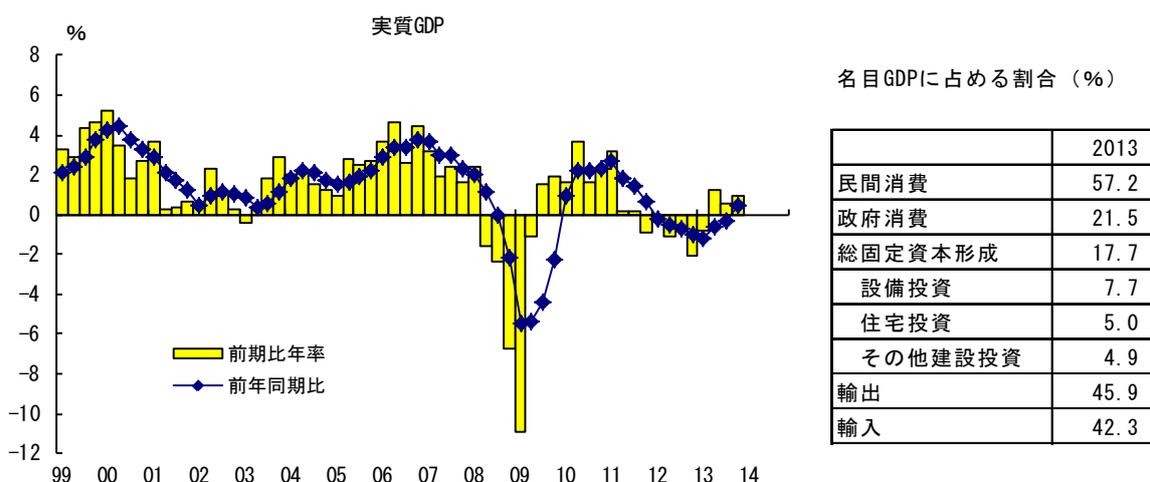
経済調査部  
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

## ユーロ圏 GDP

- 13年Q4のGDP成長率（第3次推計）は前期比+0.2%と第2次推計の同+0.3%から下方修正。13年通年は上方修正され、前年比-0.4%
- Q4の個人消費は前期比+0.1%と三四半期連続のプラスで変更はないが、前年比では+0.3%から同+0.1%に下方修正
- 総固定資本形成のうち住宅投資は、12年Q3以降の数値がすべて下方修正。13年通年は前年比-3.7%と12年の同-3.5%から更に落ち込んだ



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4
実質GDP	0.8	0.0	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	-0.2	-0.5	-0.2	0.3	0.1	0.2
個人消費	0.2	-0.6	0.2	-0.6	-0.3	-0.5	-0.1	-0.6	-0.2	0.1	0.1	0.1
政府消費	-0.1	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.3	-0.2	-0.0	0.2	-0.1	0.4	-0.3
総固定資本形成	2.4	-0.6	-0.4	-0.7	-1.0	-1.8	-0.7	-1.4	-1.7	0.1	0.5	1.1
設備投資	2.1	0.2	0.4	-1.1	-0.9	-2.0	-0.6	-1.1	-1.3	0.8	0.4	2.1
住宅投資	2.8	-1.1	-1.3	-0.3	-0.2	-1.4	-0.9	-1.9	-1.4	-0.6	0.8	-0.2
その他建設投資	2.5	-1.4	-0.6	-0.3	-2.0	-1.7	-0.7	-1.5	-2.7	-0.2	0.4	0.5
輸出	1.6	0.4	1.3	0.3	0.8	0.9	0.7	-0.6	-0.9	2.4	0.1	1.3
輸入	1.5	-0.1	0.6	-1.1	0.0	-0.2	0.3	-1.0	-1.2	1.7	0.9	0.5

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

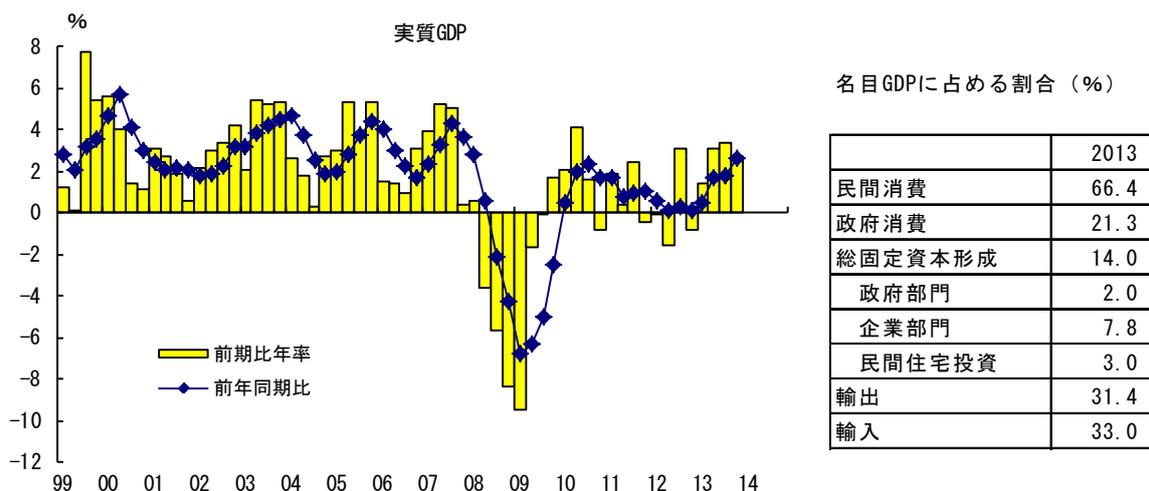
	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4
実質GDP	0.78	0.04	0.04	-0.22	-0.07	-0.27	-0.16	-0.52	-0.21	0.32	0.14	0.23
個人消費	0.10	-0.31	0.14	-0.37	-0.15	-0.30	-0.08	-0.33	-0.10	0.05	0.05	0.04
政府消費	-0.03	0.01	-0.06	0.04	-0.06	-0.06	-0.05	-0.01	0.05	-0.01	0.08	-0.06
総固定資本形成	0.45	-0.12	-0.07	-0.12	-0.19	-0.33	-0.12	-0.26	-0.31	0.02	0.09	0.19
設備投資	0.18	0.01	0.03	-0.10	-0.08	-0.17	-0.05	-0.09	-0.11	0.07	0.03	0.18
住宅投資	0.15	-0.06	-0.07	-0.02	-0.01	-0.07	-0.04	-0.10	-0.07	-0.03	0.04	-0.01
その他建設投資	0.13	-0.07	-0.03	-0.01	-0.10	-0.08	-0.03	-0.07	-0.13	-0.01	0.02	0.02
在庫変動	0.20	0.25	-0.28	-0.35	-0.04	-0.06	-0.13	-0.05	0.06	-0.11	0.27	-0.34
輸出	0.71	0.16	0.56	0.14	0.37	0.40	0.34	-0.27	-0.43	1.08	0.05	0.60
輸入	-0.62	0.05	-0.23	0.45	-0.02	0.08	-0.11	0.40	0.50	-0.70	-0.38	-0.20
純輸出	0.09	0.21	0.33	0.59	0.36	0.48	0.23	0.13	0.07	0.38	-0.33	0.40

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

\* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり  
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。14年1月からラトビアがユーロの導入を開始し、現在は18か国。14年1月以降のデータが公表されている場合、過去に遡って18か国ベースに修正済み。13年12月まで公表のデータは17か国ベース。

## 英国 GDP

- 13年Q4のGDP成長率（第3次推計）は前期比+0.7%と第2次推計と変わらず。13年通年では前年比+1.7%と小幅下方修正
- Q4の個人消費は前期比+0.1%から同+0.3%に上方修正。9四半期連続のプラス成長
- 総固定資本形成は、政府部門の大幅な下方修正により、前期比+2.4%から+1.9%に下方修正。ただし、民間住宅投資は前期比マイナスから同+0.5%に上方修正



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4
実質GDP	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.0	-0.4	0.8	-0.2	0.4	0.8	0.8	0.7
個人消費	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.5	0.5	0.3	0.4	1.0	0.3	0.8	0.3
政府消費	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.5	-1.6	0.2	0.2	-0.5	1.4	0.6	0.0
総固定資本形成	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	4.6	-1.5	-2.7	-5.1	0.9	4.0	1.9	1.9
政府部門	0.0	-13.3	5.1	-4.8	9.1	7.3	-12.9	-5.0	-8.1	11.8	1.1	1.3
企業部門	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	7.5	-2.6	0.5	-7.4	2.8	0.9	2.4	2.4
民間住宅投資	-6.5	6.2	7.8	1.1	-5.1	-4.8	-2.5	0.3	0.6	8.0	0.6	0.5
輸出	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.2	-1.4	3.3	-1.1	-1.0	2.5	-1.9	2.8
輸入	-2.6	-0.7	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	-0.0	-2.4	2.3	1.5	-0.4

英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

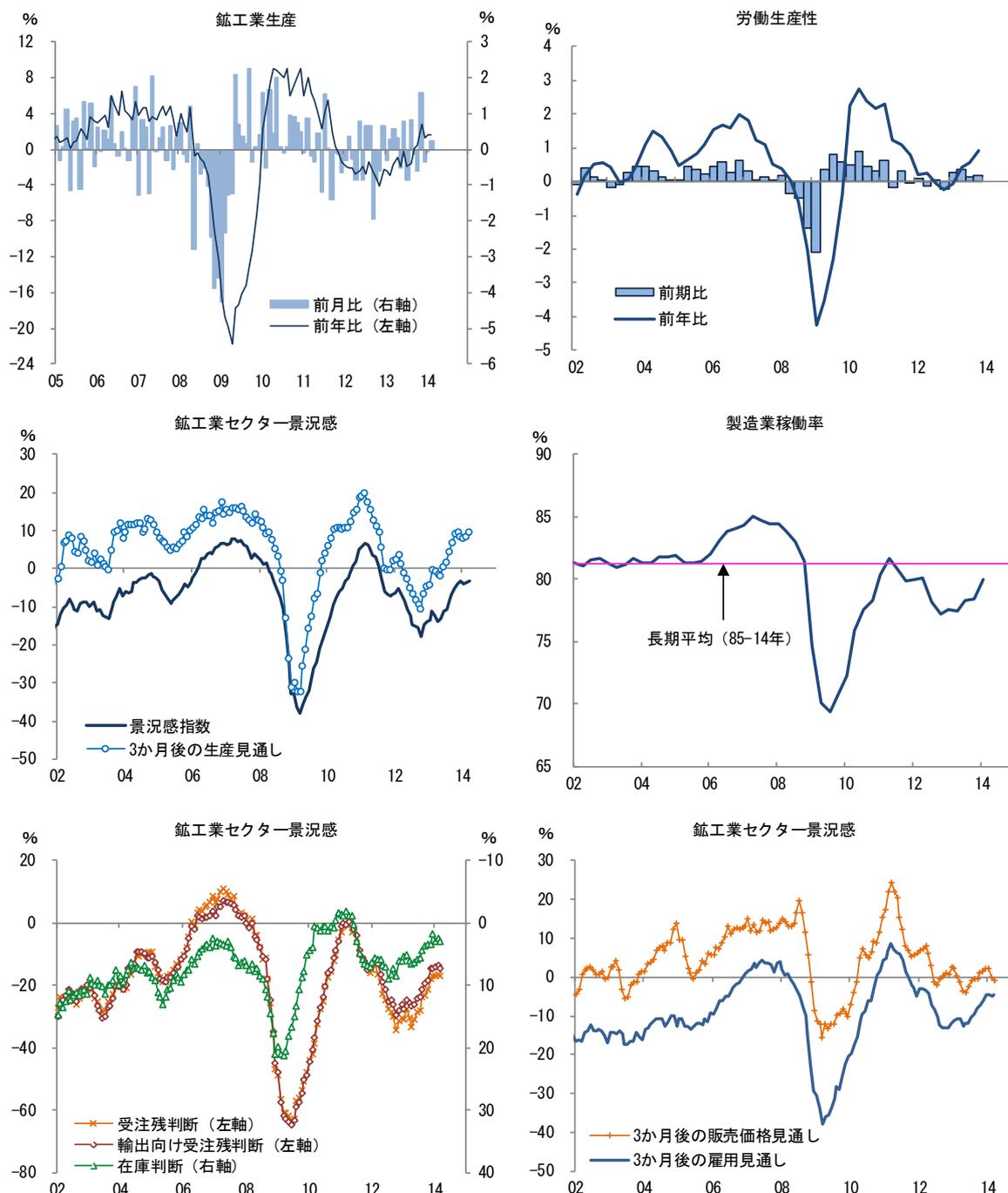
	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4
実質GDP	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.01	-0.39	0.77	-0.21	0.36	0.76	0.84	0.68
個人消費	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.29	0.30	0.19	0.29	0.62	0.17	0.49	0.19
政府消費	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.55	-0.36	0.05	0.05	-0.12	0.32	0.14	0.01
総固定資本形成	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.66	-0.23	-0.41	-0.73	0.12	0.54	0.26	0.27
政府部門	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.19	0.17	-0.32	-0.11	-0.16	0.22	0.02	0.03
企業部門	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.60	-0.22	0.04	-0.62	0.22	0.07	0.19	0.20
民間住宅投資	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.17	-0.15	-0.08	0.01	0.02	0.24	0.02	0.02
在庫変動	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.59	0.85	0.17	0.63	-0.66	-0.25	1.08	-0.77
輸出	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.39	-0.43	1.03	-0.36	-0.30	0.77	-0.61	0.86
輸入	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.34	-0.39	-0.16	0.00	0.78	-0.75	-0.49	0.13
純輸出	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.72	-0.82	0.88	-0.36	0.48	0.03	-1.10	0.99

注：総固定資本形成及びその内訳は、サーベイの回答率上昇、予想値を実績値へ変更、四半期毎の季節調整要因の再評価により、12年Q1以降の数値が修正されている

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比+0.2%と3か月ぶりのプラス。製造業の増加が続き、電気・ガス・水道のマイナス幅が縮小。前年比は製造業（特に輸送用機器）の好調が続き+1.7%
- 3月の鉱工業セクター景況感はわずかながら改善が続く。3か月後の生産見通し、受注残及び在庫判断の3つの構成要素すべてが改善した
- 3か月後の販売価格見通しは引き続き悪化、雇用見通しはほぼ横ばい

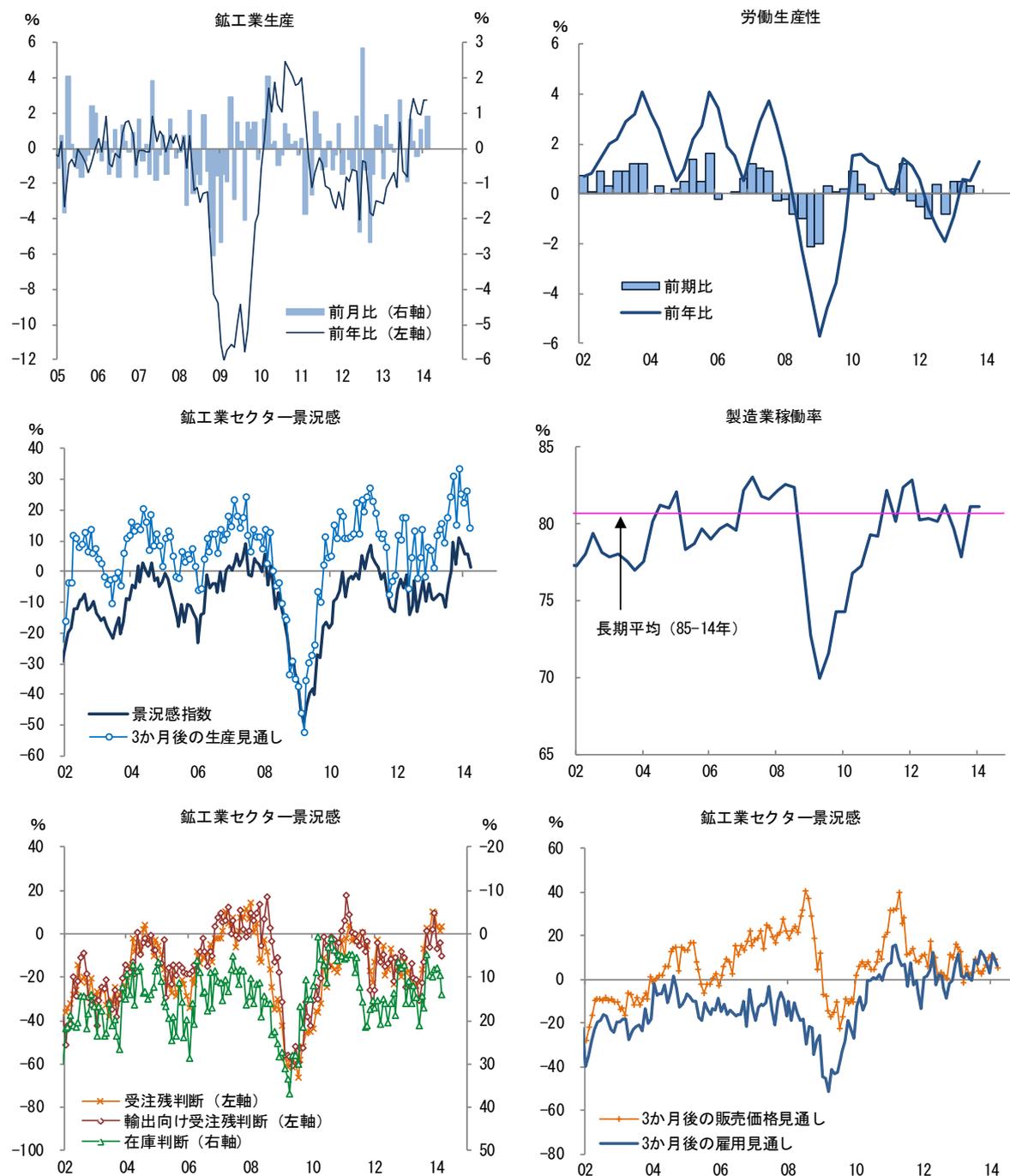


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 2月の鉱工業生産は、製造業（特に医薬品と輸送用機器）の寄与により前月比+0.9%。前年比は+2.7%。暖冬によって電気ガスが大きく減少した一方、製造業は1月より加速
- 3月の鉱工業セクター景況感は前月比悪化。受注残判断のみ改善したが、3か月後の生産見通し及び在庫判断は大きく悪化
- 13年Q4の労働生産性は前期比では横ばいだが、前年比は+1.3%と11年Q3以来の大幅な伸びを記録

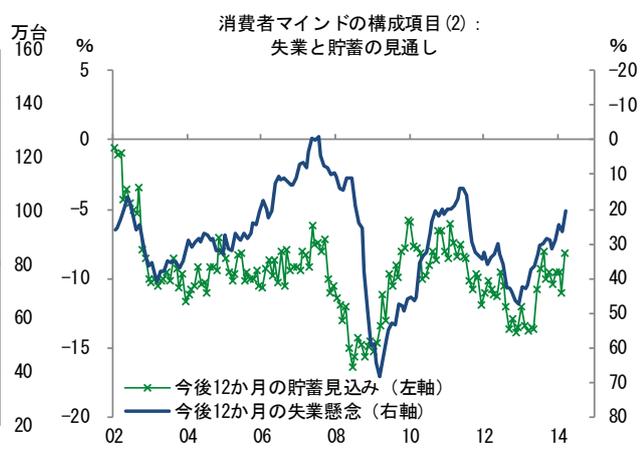
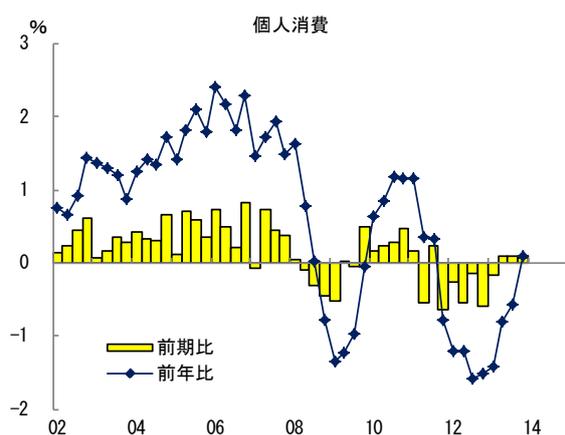


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 2月の小売売上高は前年比+0.8%と1月と変わらず。非食品の伸び率は加速が続く
- 3月の新車登録台数は前年比+5.5%の87万1千台
- 3月の消費者マインドはリーマン・ショック後のピークを越え、07年11月以来の高水準まで回復。今後12か月の景気見通し及び失業懸念が大きく改善した

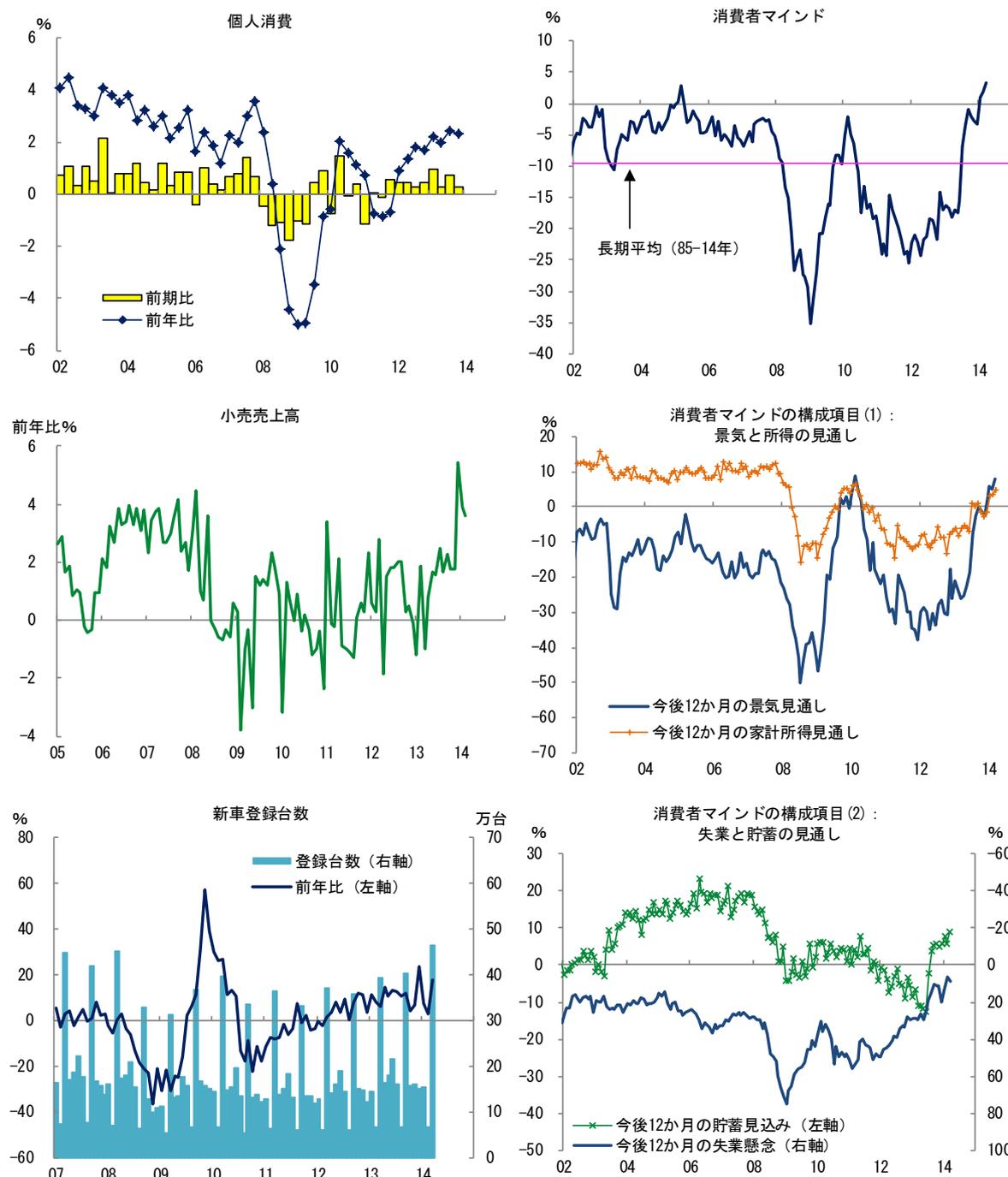


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 2月の小売売上高は前年比+3.7%と2か月連続の減速。食品はプラスに転じたが、非食品は減速。自動車燃料は減少が続く
- 3月の新車登録台数は46万5千台と04年3月以来の高水準。前年比は+17.7%と加速
- 3月の消費者マインドは、98年5月以来の高水準まで大きく改善

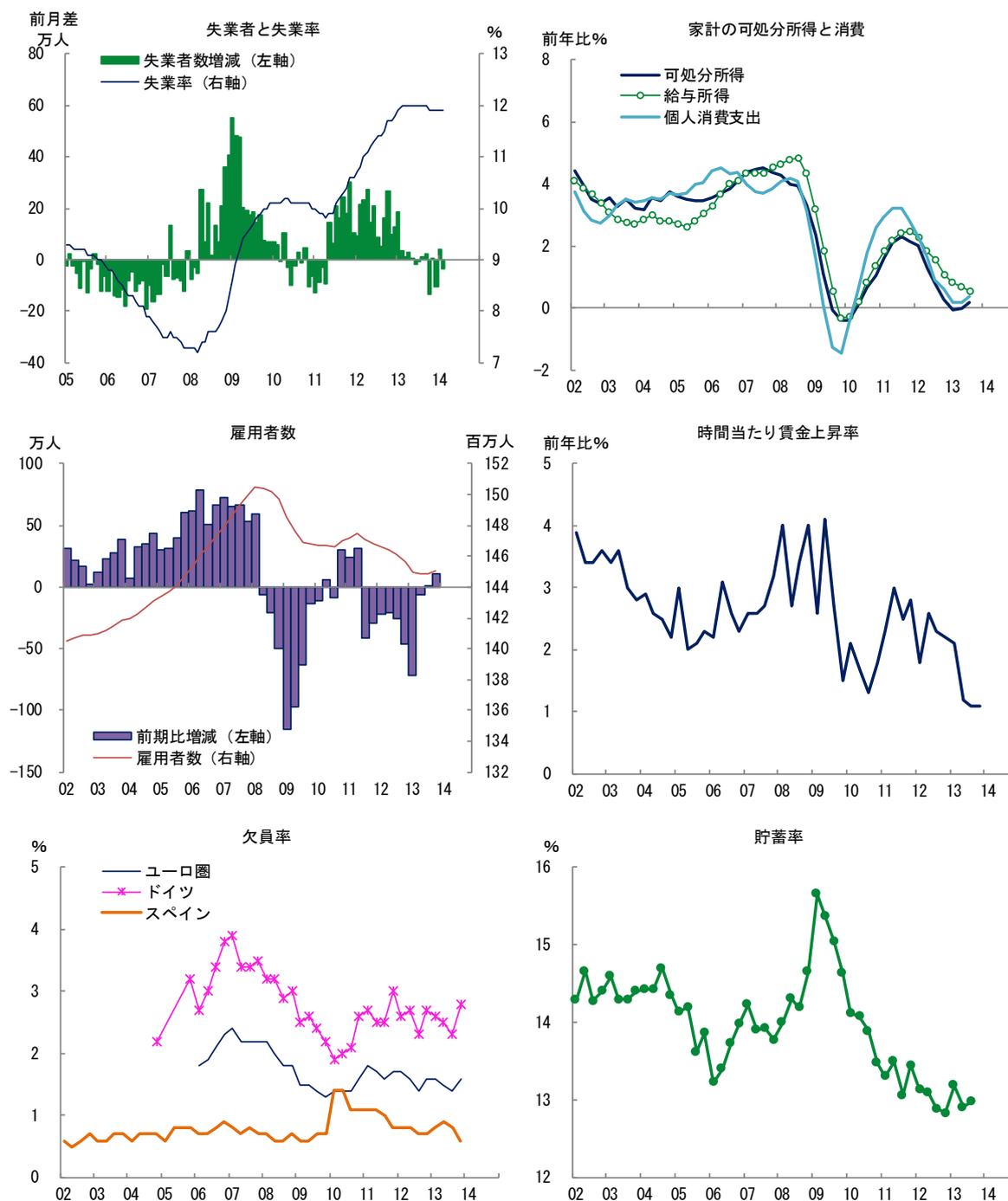


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 2月の失業率は5か月連続の11.9%。失業者数は前月比-3万5千人と再び減少に転じた
- 失業者数の減少は25歳未満の若年層の減少によるもの。25歳以上ではわずかに増加
- 国別で見ると、スペインでは前月比-5万6千人と減少が著しく、ドイツでは着実な減少が12か月続く。対して、フランスでは同+2万人と増加が最も多く、増加が継続している

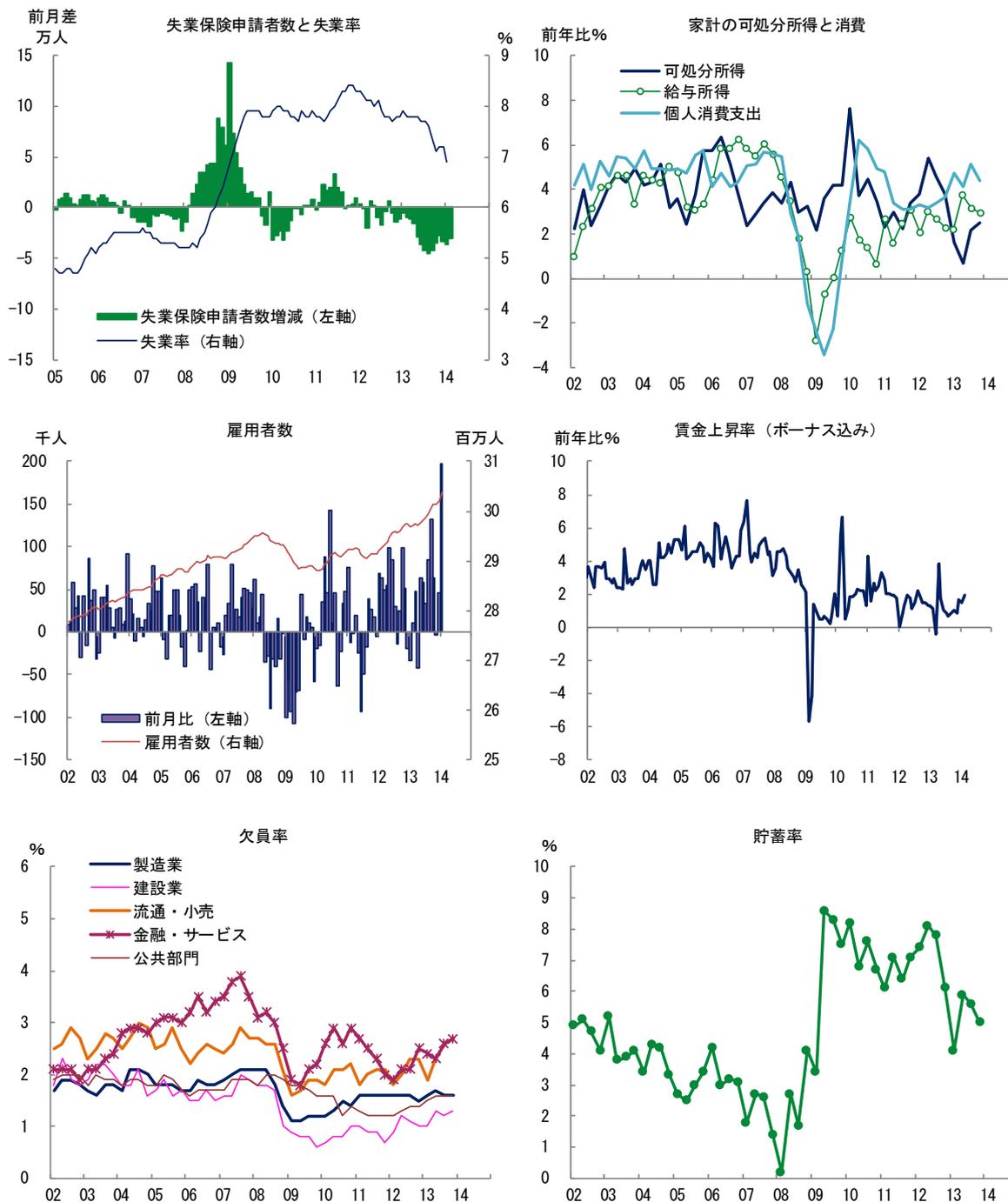


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

## 英国 雇用・所得

- 12-2月の失業率は6.9%に低下。雇用者数は11-1月比19万8千人増の3,039万人となり、統計開始以来最多を更新。3月の失業保険申請者件数は前月比での減少が続く
- 2月の賃金上昇率は前年比+1.9%と加速。民間及び公的部門ともにボーナスの上昇が寄与
- 13年Q4の可処分所得は前年比+2.5%に加速したが、個人消費支出の伸びは同+4.4%とこれを上回ったため、貯蓄率はQ3の5.6%から5.0%に低下した

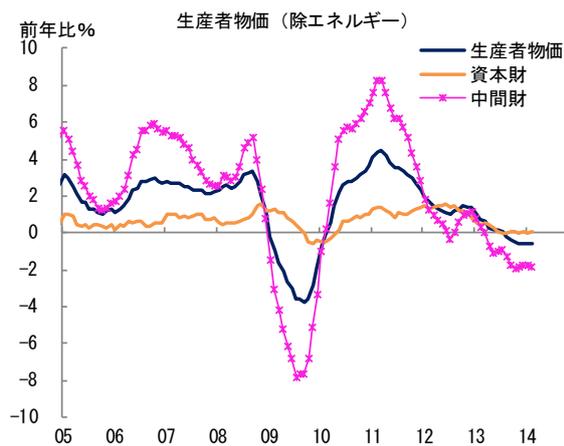


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

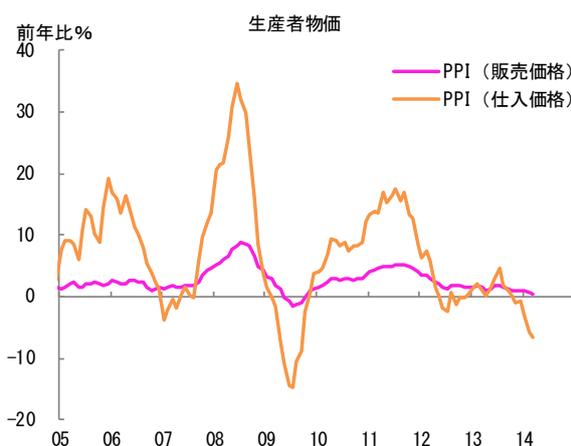
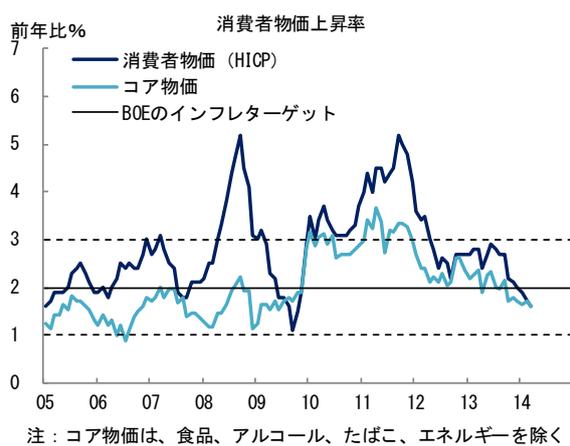
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.5%と09年11月以来の水準まで低下。エネルギー価格の下落が主要因。ただし、コア物価も3か月ぶりに減速
- 2月の生産者物価は前年比-0.6%と13年8月以降下落が継続している
- 2月の輸入物価は前年比-2.1%と低下が続く。原油価格（北海ブレント）も緩やかな低下傾向が続く中、ユーロの名目実効為替レートは上昇傾向が続く



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

## 英国 物価

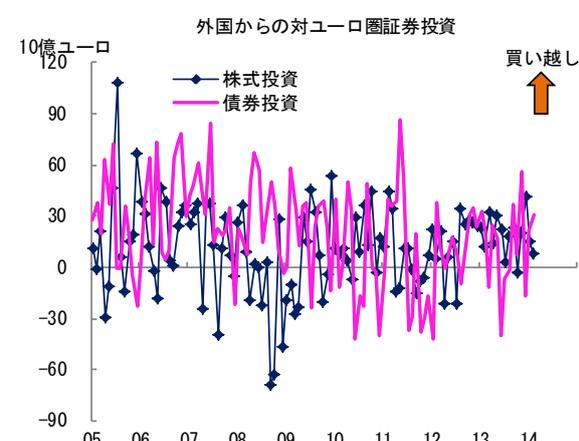
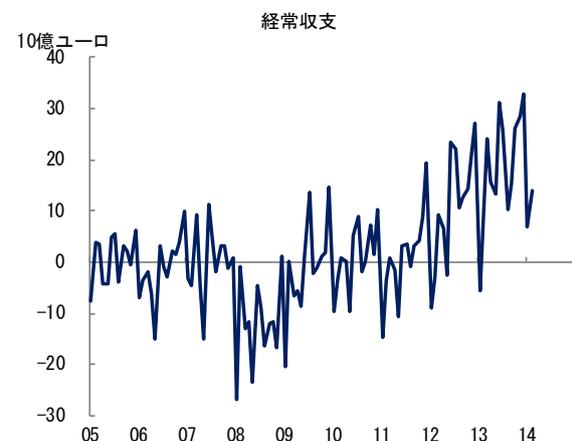
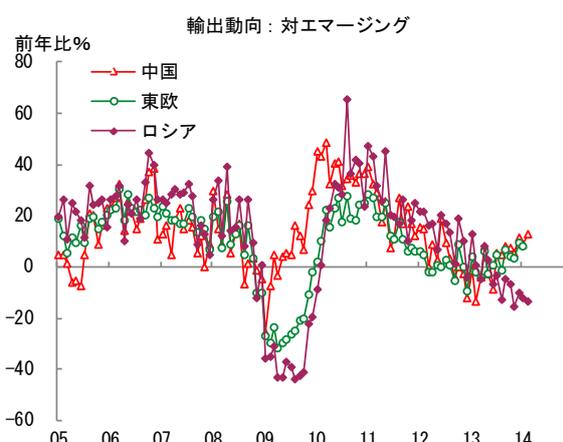
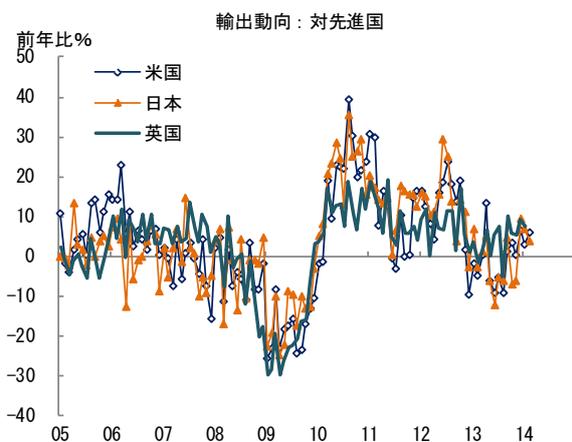
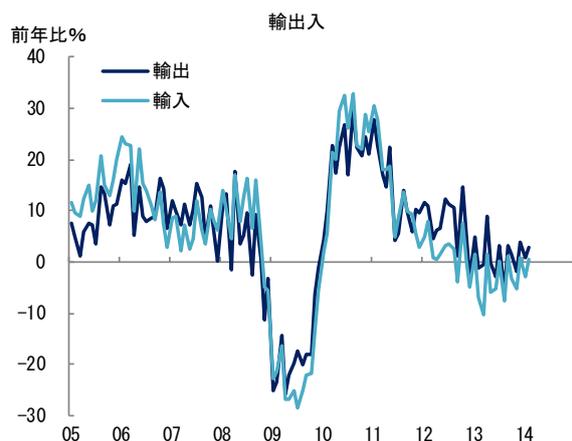
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.6%と低下が続く。2月と同様、最大のマイナス要因は、ガソリン及びディーゼル燃料価格下落による輸送費の低下
- 3月の生産者物価上昇率は販売価格は前年比+0.5%。仕入価格は同-6.5%と09年9月以来の水準まで低下。原油及び国産食料価格が大きく落ち込み、燃料価格もマイナスに転じた
- 2月の輸入物価上昇率は前年比-4.9%と更に落ち込んだ。3月のポンドの名目実効為替レートは前月比でわずかに下落



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

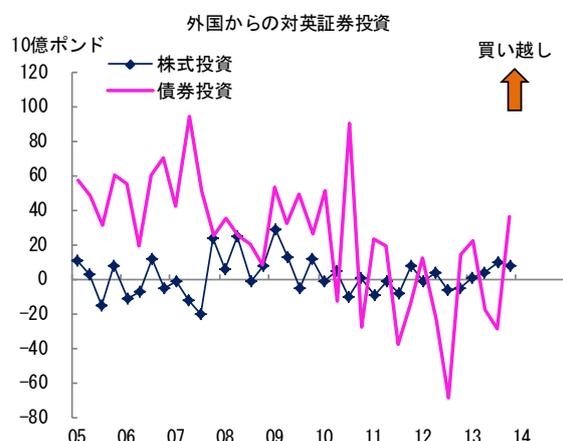
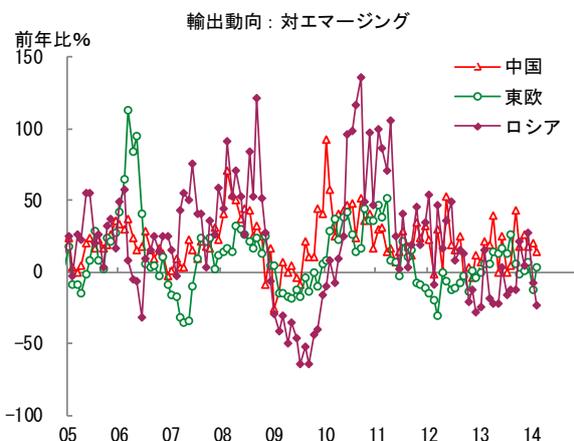
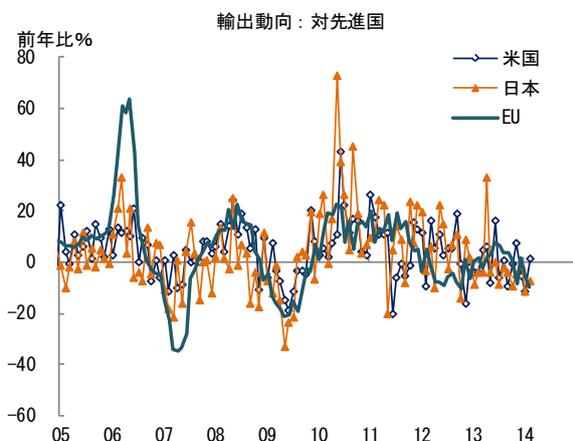
- 2月の輸出は前年比+2.9%、輸入は同+0.4%。輸出入ともに工業製品（特に機械、輸送用機器）の伸びが大きかった。3月の輸出向け受注残判断は前月比やや悪化
- 国別輸出ではロシア向けのみ減少が続く。米国、中国及び日本向けは増加継続
- 貿易黒字の拡大により、2月の経常収支は139億ユーロと1月から増加。外国からの対ユーロ圏証券投資は買い越しが続くが、債券投資は前月比で増加、株式投資は減少した



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 2月の輸出は前年比-5.3%、輸入は同-3.6%。輸出入ともに燃料及び工業製品が大きく減少したが、輸出では食品・飲料・たばこが約1年ぶりに前年割れに転じた
- 国別輸出動向を見ると、米国及び東欧向けは前年比プラスに転じるも、ロシア及びEU向けが減少幅が拡大。3月の輸出向け受注判断は前月比で悪化し、低下傾向が続く
- 13年Q4の経常赤字は224億ポンドとQ3からわずかに減少。外国からの対英証券投資は、債券投資が大幅な買い越しに転じ、3四半期ぶりの買い越しとなった



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成